

助かる命を助けるために

生命に危険のある傷病者が救急車を待っています。

当組合の、令和3年中の救急事情は出場1,809件、うち1,684人を搬送しており、1日に約4回出場し、網走市民及び大空町民の約24人に1人が救急車を要請していることとなります。

このうち約35%の方が入院の必要のない「軽症」の患者さんでした。

当組合では、4隊の救急隊を配備し、市民の皆さんからのSOSに対応していますが、緊急性を要しない救急車の利用が多くなると、本当に救急車が必要な方へ速やかに救急車を出場させることができなくなります。

救急車は、皆さんの緊急事態に備えていつでも出場できるように待機しています。適正に救急車を利用し、助かるはずの命を助けられる地域としていきましょう。

9月9日は救急の日です 




救急車の適正利用についてご協力願います

こんな救急要請していませんか？



こんなときはすぐに119を！

- ・意識がなく、呼吸、脈拍が感じられない 
- ・頭を打って、意識状態が悪い
- ・顔色が悪く冷や汗をかいている
- ・痙攣が続いている
- ・激しい胸痛、頭痛、腹痛

網走地区消防組合